

広報 やまだ



見て！かっこいい五月人形だね

端午の節句を前に、エフビー付近仮設住宅で「五月人形」が飾られました。この人形は、同仮設住宅区長の昆あや子さん（織笠・64）の自宅で保管されていましたが、津波で流出。その後、ボランティアの懸命な洗浄作業と昆さんの地道な修復作業により見事、復活を遂げました。4月20日に同仮設住宅に住む祖母のところへ遊びに来た佐々木陽飛くん（3才）は、飾られた人形を見て「ピカピカしていてかっこいい」と話し、どっしりと構える姿に見入っていました。

No
1000

今号の主な内容

結ばれる絆
広報やまだ創刊1000号
町のわだい
みんなのスペース

2~4
6~7
8~9
14

CONTENTS

5月1日号 2012



結ばれる 絆

東日本大震災は町にも町民の心にも甚大な被害をもたらしました。現在、わたしたちは町内外、日本全国からの多くの支援のもとに立ち上がり復興への道を歩んでいます。そして今もなお、震災で結ばれた絆は切れることなく固く結ばれています。今号では、町を支援し続け、わたしたちの暮らしを支える団体を紹介します。



©公益財団法人 国際開発救援財団

区長や班長を決めるため、住民と話しをするFIDR職員

公益財団法人国際開発救援財団は、仮設住宅に扇風機や掃除機、暖房器具などを提供し、被災者の生活再建に向けた活動を行ってきました。また、マイクロバスを山田町社会福祉協議会へ寄贈し、高齢者の買い物支援とともに、車内で利用者同士が歌や会話などを楽しみ、交流を深めることを目的とした「お楽しみバス・まちづ

けえ号」の運行を支援しました。さらに、仮設住宅で顔合わせ懇談会を開催し、区長や班長決めの手伝いや自治会設立へ向けた支援を行ってきました。今後も引き続き、仮設住宅での自治会設立やイベント開催の支援を行い、住民同士が協力し合う住みやすい環境を作り、コミュニティの再構築につながる活動を展開していきます。

公益財団法人 国際開発救援財団 (FIDR)

団体概要

1990年に山崎製パン(株)創業者の故飯島藤十郎氏の寄付を基に発足。開発途上国の子どもの福祉を中心に支援事業を行っているほか、自然災害への緊急救援も実施している。



Save the Children
JAPAN



自らが考えた未来のまちを説明する子どもたち

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、子どもたちが集まり、まちづくりについて考える「子どもまちづくりクラブ」を創設し、活動しています。同クラブでは、町内の小学生が専門家や地域の方々と話し合いを通じて、未来の山田をテーマにマスコットキャラクターや模型などを作りながら復興に向けたまちづくりを考えてきま

した。昨年にはまちづくりプランを発表し、大人と意見交換を行い、町と県へ意見書を提出。本年2月には陸前高田市と宮城県石巻市の子どもたちとともに復興庁を訪れ、子どもの視線に立ったまちづくりをしてほしいと訴えました。5月5日には同クラブが東京都でこれまでの活動を発表し、より良いまちづくりについて考えます。

公益社団法人

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

団体概要

「子どもの権利」の実現を目指し、1919年にイギリスで創設。現在120カ国で活動。日本では1986年に設立され、2003年から子ども参加を促進するための事業を実施している。

ケア・インターナショナル・シヨナル・ジャパンは、被災者のニーズに対応し、地域の経済と結束力の再生を目的に活動しています。震災直後から避難所での炊き出し、地域新聞「希望」の発行支援、飲食店再開のための必要機材の提供支援が行われました。また、仮設住宅へ融雪剤や雪かき用のスコップなどを保管する物置を設置し、家を修

復して住んでいる在宅被災者にはテレビや炊飯器、掃除機などの家電を提供。さらに郷土芸能再開に向けての支援や、山田町社協支援愛支援センターが行う思い出写真展のカフェ・ポットやコーヒー、子どもたちが遊ぶおもちゃの提供や仮設住宅を巡回するカフェの開催支援など、町の団体と連携した支援が行われています。

公益財団法人

ケア・インターナショナル ジャパン

団体概要

母体は1945年にアメリカで設立。1987年、現在の団体の前身であるケア・ジャパンが発足し、世界各国で災害地域への緊急援助や女性・子どもに焦点を当てた活動を行っている。



仮設住宅へ地域新聞「希望」を配布する職員



ハンドマッサージに心が癒されます

みえ災害ボランティア支援センターでは、昨年4月から毎週1便のペースで「みえ発！ボラパック」というボランティアバスパックツアーを運行、これまで36便648人がボランティア活動を行いました。昨年は個人敷地内のがれき撤去・清掃や支援物資の仕分け、配布などの支援活動を展開し、町民から数多くの感謝の言葉がかけ

られました。きめ細やかな支援が行えるのは、ボランティアに参加する前に常駐するスタッフが現地の状況を伝え、参加するための心構えや被災者のニーズについて、過去の参加者との話し合いや事前の講習などを徹底して行っているからです。本年度からは、ハンドマッサージや連鶴教室など、町民の心を癒す活動も進めていきます。

みえ災害ボランティア支援センター

団体概要

震災発生時にNPO法人みえ防災市民会議など6団体が参集し、三重県とともに官民協働で3日後に設立。昨年4月28日からボランティア活動が開始された。

山田町災害復興支援隊は、国の緊急雇用創出事業により100人を超える町民を雇用し、編成されました。災害特務中隊・被災者支援小隊・観光復興小隊などの全9グループで、行方不明者捜索、防犯パトロールや仮設住宅へのおかず提供をはじめ「御蔵の湯」の運営など、多岐にわたり復興支援活動をしています。1

日に450人以上が利用する同仮設浴場では、入浴のほかにパワーストーン教室などのイベントも開催し、訪れる町民の疲れを癒しています。また、仮設住宅では温かい料理と飲み物を飲食しながら楽しいひとときを過ごす「週末ふれあいガーデン」を毎週開催するなど、町民の暮らしを支える活動が続けられています。

山田町災害復興支援隊

団体概要

厚生労働省の緊急雇用創出事業により町から特定非営利法人大雪りばあねっとへ事業が委託されて昨年9月に編成された。行方不明者捜索や復旧・復興支援活動を行っている。



おかずを手渡しながらコミュニケーションをとる隊員

危険業務従事者叙勲

福士さんが瑞宝双光章

第18回危険業務従事者叙勲で、織笠の福士寛さん(70)が瑞宝双光章を受章しました。

この叙勲は警察官や自衛官、消防吏員など危険性の高い仕事に取り組み社会に貢献した人の功労をたたえるものです。

福士さんは、昭和36年から41年間、刑事として主に暴力団関係を担当。「捜査は足でかせ

ぐ」を信念に奔走し、数々の事件を解決してきました。「皆さんのおかげで受章できました。住民の支えがなくては警察は成り立ちません。ありがとうございます」と喜びを話します。

責任感・正義感にあふれる福士さんは、震災時に自宅が浸水しながらも被災者の支援に懸命に当たりました。昨年10月には、傾聴ボランティアを立ち上げ、町民の心に寄り添う活動を続けています。「多くの人が心に不安を抱えています。その不安を少しでも取り除けるようにがんばります」と、心の復興にかけ強い気持ちのをのぞかせます。



盛岡市内一周継走大会 山田中男子が2大会連続優勝 女子第5位入賞大健闘の走り

4月15日に開催された第66回盛岡市内一周継走大会で、山田中学校(佐々木毅校長・生徒448人)の男子チームが2大会連続優勝、女子が第5位とすばらしい成績を残しました。

同大会は盛岡市の県営運動公園で行われ、中学校男子の部に116チーム、女子の部には104チームが参加。山田中男子は、1走から5走までトップを譲らず2位に32秒差をつけて完勝。また、山田中女子は日ごろの練習の成果を発揮し、5位入賞と大健闘の走りでした。

男子の1走を務めた佐々木聖和君は「優勝を目標に練習してきたのでごくうれしい」と喜びを話しました。主将の山崎昂太君は「次は県駅伝大会の優勝が目標。気を抜かないで頑張ります。町民の皆さん、これからも応援よろしくお願いします」と次の目標を早くも見据えていました。

男子…写真前列左から佐々木聖和(3年)、内舘奏太(3年)、沼崎友哉(3年)、梶山拓郎(2年)、佐々木廉(3年)
女子…写真前列左から伊藤優希(3年)、橋端保奈美(2年)、西川理子(2年)、平野真子(2年) 《敬称略》



すばらしい成績に笑顔山田中の男子駅伝部(上写真)と女子駅伝部

町長室から

団員の中に著名人が多いことや海外公演も含めて、日本で最も活発に活動を続けていることで知られる六本木男声合唱団倶楽部の演奏会が、4月15日に中央公民館で開催されました。このきっかけは、本町出身の波岡寛さんが団員だったことから団長の三枝成彰さんが団員に呼びかけ多くの賛同を得て実現したものです。これに盛岡の2団体も友情出演し、100名にも及ぶ大合唱が会場を揺るがしました▼三枝さんの来町の目的はもう一つありました。震災遺児・孤児を支援する文化・スポーツ支援機構を立ち上げたことから、この趣旨を広く周知し一人でも多くの子供たちの夢をかなえさせる手助けをしたいというものです。例えば、医師をめざしたければ、受験のための家庭教師の派遣、大学の授業料など諸経費の支援などもあります。詳しくは本紙の10ページをご覧ください。

山田町長 沼崎 喜一

町と広報のあゆみ

- ・昭和30年3月 山田町、船越村、織笠村、大沢村、豊間根村の1町4村が合併し、新山田町が誕生。
- ・30年5月 広報やまだ創刊号を発行。タブロイド版4頁。
- ・35年5月 チリ地震津波発生。
- ・37年4月 陸中山田駅が改築落成。
- ・40年1月 県立山田病院が完成。
- ・41年1月 紙面サイズをB5版に変更。
- ・42年9月 山田魚市場改築落成。
- ・42年12月 山田中学校新校舎へ移転。
- ・43年5月 十勝沖地震津波発生。
- ・44年3月 国道45号織笠大橋が完成。
- ・45年11月 町章を制定。
- ・49年8月 山田町役場新庁舎が完成。
- ・50年10月 山田町合併20周年、町民憲章、町の花木鳥「はまなす」「すぎ」「うみねこ」を制定。
- ・55年7月 本町出身の鈴木善幸衆議院議員が第70代内閣総理大臣に就任。
- ・56年10月 創刊号から300号までを収録した縮刷版を発行。
- ・58年10月 広報の発行が月2回（1日号と15日号）になる。
- ・59年1月 1日号が2色刷りに変更。
- ・60年10月 山田町合併30周年。
- ・61年6月 船越家族旅行村がオープン「町民登場」コーナーが始まる。これまでに127人が登場。



広報やまだ創刊号



広報やまだ100号

広報やまだ 創刊 1000号

町民と行政つなぐパイプ役

より身近に感じる情報紙を目指して

皆さんに支えられて

昭和30年5月20日に創刊号が発行されてから57年。「広報やまだ」が今号で1000号を迎えました。皆さんの温かいご理解と協力で支えられながら、

町民の皆さんと行政をつなぐパイプ役として町の動きや情報話題などを伝えてきました。

これまで時代の流れとともに紙面のスタイルは大きく変わってきました。タブロイド判からB5判へ、さらに平成7年4月からは現在のA4判に変更。色も一色刷り（黒）から、一日号が二色刷り（黒と色一色）へ、さらに平成15年からは表紙と裏表紙がカラー刷りとなりました。また、ページ数や取り扱う内容なども時代に合わせた構成となつていきます。

広報は、町の動きや身近な出来事などを町民の皆さんに正確

に伝える役割と町民の皆さんが持っている意見や要望をくみ取る公聴の役割があります。また、時代の様子を後世に伝えるため、町の歴史を記録し保存することも大切な役割です。

広報紙はこのような役割を担っていますが、話題豊富な紙面を構成するためには、皆さんからの情報が大切になります。「わたしたちの地区でこんなことをしています」「〇〇さんは、こんなことに一生懸命取り組んでいます」「珍しい物を見つけました」など、お気軽に情報をお寄せください。今後も「町づくりの主役は町民の皆さん一人一人」をモットーに、より身近に感じられる情報紙を目指して、町の動きや話題などを皆さんのお手元にお届けします。

◆情報提供先・問い合わせ 町

総務課情報係（☎82-13111 内線417）へどうぞ。

広報やまだへ一言



朗読ボランティア代表
佐々木 啓子さん
(織笠・64)

山田のことを知るにはやっぱり広報やまだが一番ですね。「町のわだい」では、写真などでそのときの様子が分かり、読んでいて楽しいです。難しい言葉などがあるので、表現を変えるなど誰にでも分かるようにすればもっと読みやすくなると思います。



佐々木 茉祐さん
(山田南小6年)

いつも好きなキャラクターやかわいい絵が載っている「みんなのスペース」を一番初めて見ました。表紙も季節に合っているものが多く、一目で何月号か分かるのも魅力だと思います。すごい特技を持っている人など、明るい話題をたくさん載せてほしいです。



合併50周年を記念して発行された特集号 (854号)



記憶・記録を後世に残し伝える役割を担います (984号)



全国広報コンクールに入選した広報やまだ712号



「さわやかさん」が「フレッシュウーマン」(536号)

- ・63年5月 全国広報コンクール町村1部で入選2席(422号)。同年8月「健やか赤ちゃん登場」がスタート。現在の「1歳になりました」を含め、今号までに4,043人が登場。
- ・平成4年7月 鯨と海の科学館がオープン。
- ・4年8月 「フレッシュマン・ウーマン登場」がスタート。以前の「頑張るマン・さわやかさん」を含め、これまで309人が登場。
- ・5年12月 301号から551号まで収録の縮刷版を発行。
- ・7年4月 山田消防署庁舎が完成。紙面サイズをA4版に変更(600号)。
- ・11年4月 全国広報コンクール町村1部で入選7席(688号)。
- ・12年4月 全国広報コンクール町村1部で入選8席(712号)。
- ・14年8月 三陸縦貫道自動車道「山田道路」が開通
- ・15年4月 1日号の表紙と裏表紙をカラー刷りに変更、「元気なじいちゃん・ばあちゃん」「ぼくのゆめ・わたしのゆめ」「まちで出会ったかわいい笑顔」がスタート。
- ・16年7月 山田町名誉町民の鈴木善幸元内閣総理大臣が逝去。
- ・16年8月 15日号を「お知らせ版」に変更。
- ・17年10月 山田町合併50周年記念式典を開催。広報やまだ合併50周年記念号を発行。
- ・18年11月 県立山田病院が移転開院。
- ・20年4月 「キッチンスタジオハーモニー」がスタート。
- ・22年2月 チリ地震津波発生。
- ・23年3月 東日本大震災発生。津波、火災により壊滅的な被害を受ける。震災特別号を6号まで発行。
- ・23年9月 広報やまだ9月1日号震災特集号で通常版の発行を再開。

町内各小学校で入学式 希望に輝く新入生らの瞳

4月5日から10日にかけて町内各小学校で入学式が行われました。10日、山田南小学校（佐賀敏子校長、児童200人）では新たに28人が仲間入り。一人一人名前を呼ばれると児童らは元気に返事をし、その姿に保護者らは目を細めていました。佐賀校長は「普段の生活に気を付け、自分の命を大切にしてください。また、あいさつは仲良くなるための魔法の言葉。あいさつや返事を進んでみましょう」と話し、新入生らは希望に満ちた学校生活に目を輝かせていました。本年度の町内小学校の新入生は全体で110人（男53人、女57人）です。



風雨しのげる憩いの場 バスシェルターが完成

公益財団法人国際開発救援財団（ファイダーFIDR）の支援により、中央町のバス停にバスシェルターが設置されました。多くのバス利用者が雨の中待っていることを気の毒と感じていた住民から町へ相談があり、町が同団体に支援を要請したことから設置に至ったものです。同団体のほか、県宮古農林センターからもシェルター内に設置する木製ベンチの提供がありました。町へのバスシェルターの贈呈式は、4月5日、山田中央町バス停で開かれました。関係者によるテープカットの後、利用者が早速シェルター内で談笑し、憩いの場の誕生を喜びました。

大沢漁港でボランティア 養殖筏用の土俵詰めを支援

4月7日、大沢漁港において「ふんばろう東日本支援プロジェクト」（西條剛央代表）主催によるボランティア「漁師さんといっしょ～漁師さんの仕込みのお手伝い～」が行われました。関東、中部地方からボランティアに応募した44人は、漁師らと共に砂袋に砂利を詰め、養殖筏を固定するための重りを作る土俵詰め作業を実施。この日は風が冷たかったものの、漁師とボランティアの息の合った作業に漁港は活気と熱気にあふれていました。昼食では、ボランティア参加者は漁師らとテーブルを囲んで山田のカキ、ホタテ料理を堪能。支援を受けた漁師は「大変ありがたい。単に支援を受けたというだけでなく、ボランティア参加者から話題が広がれば山田のカキ、ひいては町のPRにもなる」と話していました。



作業で汗をかいた後は、山田のカキ、ホタテ料理に舌鼓。そのおいしさに思わず笑みがこぼれ、漁師との会話も弾みます。（写真右）





今月の題字

阿部 舜くん
(織笠小2年)

町のあだい

道の駅で交通安全啓発活動 交通事故ゼロを願い呼び掛け

4月6日、町交通安全対策運動協議会（会長・沼崎喜一町長）では、道の駅やまだで交通安全街頭啓発活動を行いました。春の全国交通安全運動の一環として行われたもので、町交通指導隊や町交通安全母の会の会員など57人が参加。交通安全を呼び掛けるチラシやティッシュペーパーなどをドライバーに手渡し「スピードを控えて安全運転をお願いします」「後部座席の方もシートベルトをしましょう」などと一声掛けながら、交通事故撲滅を訴えました。



六本木男声合唱団が本町で公演 力強い歌声で心奮い立つ

4月15日、六本木男声合唱団倶楽部による「いざ起て！岩手人」コンサートが行われました。この公演は、同団体に町出身の波岡實さんが所属している縁で実現したものです。会場となった町中央公民館大ホールは超満員。団員70人の力強く美しい歌声に、観客は心を震わせていました。盛岡市の男声合唱グループ2団体と共演した合唱団歌「いざ起て戦人よ」では、その心を奮い立たせる旋律に涙ぐむ観客の姿も。フィナーレは、元町教育長・木村悌郎さんの指揮のもと、観客とともに「ふるさと」を歌って締めくくり、優しい気持ちで会場を満たしました。

本町出身の光さんがコンサート 心に染みる透き通った歌声

4月1日、町中央公民館でシンガーソングライターの光さんによるコンサートが行われました。光さんは本町出身で盛岡市在住。震災では実家が被災し「山田のこと、家族のことが心配。何か始めなくては」という熱い気持ちから今回のコンサートが実現しました。コンサートでは山田町をモチーフとした親しみやすい歌を熱唱し、締めくくりはこの日のために作った曲「消えない虹」。観客からは自然と手拍子が起こり、光さんも「みんなの思い、夢、気持ちは同じです」と古里への思いを話しました。光さんの心に染みる歌声に200人を超える観客は酔いしれ、温かな笑顔にあふれていました。





三枝成彰会長

4月15日に本町で公演を行った六本木男声合唱団倶楽部の団長・三枝成彰氏が設立した一般社団法人3・11震

災孤児遺児文化・スポーツ支援機構では、震災で親や養育者を失った子どもたちの夢を叶える支援を行います。支援を希望する方はお問い合わせください。

▽支援内容

- ・学習塾、家庭教師の派遣
- ・文化やスポーツを中心とする教室の紹介、講師の派遣
- ・東京でのミニ留学、研

いざ起て！岩手人

あなたの夢を応援します

海外留学の支援

▽主な支援職種

- ▽医師▽教師▽法律家▽アナウンサー▽作家▽音楽家▽華道家▽茶道家▽建築家▽画家
 - ▽デザイナー▽写真家▽歌手▽俳優▽俳人▽スポーツ選手▽パティシエ▽シェフ▽パイロット▽ダンサー▽航海士
 - ▽技術者▽ソムリエ
- ◆問い合わせ 同機構東京本部 事務局（東京都港区・ ☎03-3584-11608）または東北地区事務局（宮城県仙台市・ ☎022-302-13244）へどうぞ。

被災地区不動産鑑定標準価格公表します

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた本町の被災地域の土地評価について、県から不動産鑑定評価の調査結果が示されました。

今回の調査は、震災による影響などの認定が困難であり、適正な評価を行うためには高い専門性が求められること、また、国や県、市町村などが統一した土地評価の考え方などにより用地取得を進めることが望ましいことから、県が一括して実施したものです。なお、この標準価格は今後の復旧・復興状況や経済情勢などにより変動することがあり、あくまでも目安となる数字となります。

町では、この評価結果を参考にして今後の復旧・復興事業のための土地の取得価格算定の目安として活用していくことになります。

◆防災集団移転促進事業を実施する区域の土地（住宅の用に供していた土地など）については、町が買い取る場合もありますが、その他の被災した全ての土地を国や県、町が買い取るというものではありません。

◆問い合わせ 町復興推進課まちづくり再生チーム（☎82-3111内線341）へどうぞ。

子宮頸がん予防接種費用助成の特例措置

町では、子宮頸がんの予防接種の費用に対する助成を行っています。

対象は中学1年生ですが、昨年度の助成開始時期や周知期間などを考慮した結果、本年度に限り、中学2年生で昨年度接種を受けなかった方も対象となります。

また、中学1年生が本年度内に1回目の接種を終え、2回目、3回目の接種が来年度に繰り越された場合も、基準の接種間隔であれば全額助成対象となります。

▷助成内容 指定の医療機関で接種した場合、接種費用の全額を助成

▷実施医療機関 町内の医療機関（県立山田病院仮設診療所を除く）または下記の県立病院

◎任意予防接種の助成対象医療機関を追加

子宮頸がんやヒブ、小児用肺炎球菌の任意予防接種の費用助成は、これまで町内の医療機関で接種した場合に限り実施してきましたが、新たに19カ所の県立病院（県立山田病院仮設診療所を除く）での接種を助成の対象に追加しましたのでご利用ください。

なお、追加の一部病院については、3種全てのワクチンを取り扱っていない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

▷追加の県立病院 ▶中央▶大船渡▶釜石▶宮古▶胆沢▶磐井▶遠野▶高田▶久慈▶江刺▶千厩▶中部▶二戸▶一戸▶大槌▶軽米▶沼宮内・大迫・住田——の各地域診療センターです。

◆問い合わせ 町健康福祉課健康管理係（☎82-3111内線142）へどうぞ。

◆町内の標準価格

【平成24年4月1日現在】

所在	地目	標準価格 (円/平方メートル)	震災格差率 (%)
中央町	宅地	36,500	-24.8
長崎三丁目	宅地	31,800	-23.2
北浜町	宅地	18,600	-20.8
川向町	宅地	25,000	-24.8
後楽町（浸水区域外）	宅地	28,100	-6.0
大沢8地割	宅地	20,200	-23.2
大沢11地割	宅地	7,540	-23.2
織笠11地割	宅地	16,600	-23.2
織笠12地割（浸水区域外）	宅地	18,900	+3.4
織笠12地割（浸水区域外）	宅地	18,700	+3.4
船越4地割	宅地	12,300	-23.2
船越11地割	宅地	8,910	-23.2
船越15地割	宅地	14,800	-23.2
船越22地割	宅地	7,620	-23.2

※標準価格：不動産鑑定評価を実施した地域のおおむね標準的と認められる土地の価格（復旧・復興事業において個々に取得する土地の価格ではありません）。

※震災格差率：震災の影響で土地の価格が、震災がなかった場合と比べてどれだけ上下したかを表す指標。

※土地の形状や道路などの条件によって、価格が異なる場合があります。

低所得世帯を対象に 灯油代5千円を助成

町では、灯油価格が高価格で推移していることに伴い、低所得世帯を対象に灯油代の一部を助成します。対象になると思われる世帯には申請書類を送付しますので、必要事項を記入の上、期間内に申請してください。

なお、申請書類が送付されない方でも対象と思われる方は、お問い合わせください。

◆助成を受けられる世帯 本年2月1日現在で本町に住民登録があり、平成23年度の町民税が世帯全員非課税で、次の①～③のいずれかに該当する世帯

- ①高齢者世帯 満65歳以上の高齢者のみ住んでいる世帯
- ②障がい者世帯など
 - ・身体障害者手帳の交付を受けている人が同居している世帯
 - ・療育手帳の交付を受けている人が同居している世帯
 - ・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人が同居している世帯
 - ・特別児童扶養手当を受給している人が同居している世帯
 - ・障害基礎年金を受給している人が同居している世帯
 - ・要介護4または5の要介護認定を受けている人が同居している世帯
 - ・知的障がい児または知的障がい者の判定を受けている人がいる世帯
- ③ひとり親世帯
 - ・平成5年4月2日以降に生まれた児童と配偶者のいない父または母などで構成されている世帯
 - ・父母がともにいない児童が同居している世帯

※ただし、社会福祉施設などに入所している人および長期入院（継続して6カ月以上）している人は対象になりません。

- ◆助成額 1世帯あたり5,000円
- ◆支払い方法 口座振り込み
- ◆申請期間 5月10日～31日
- ◆必要な物 申請書、印鑑、預金通帳
- ◆申請受付日程 【5月】

期日	受付日時	受付場所
10日 (木)	午前9時～11時半	大浦漁村センター
	午後1時半～4時半	船越防災センター
11日 (金)	午前9時～正午	豊間根生活改善センター
	午後1時半～4時半	ふるさとセンター
14日 (月)	午前9時～正午	猿神農業担い手センター
	午後1時半～4時半	町役場町民ホール
15日 (火)	午前9時～正午	
	午後1時～4時	

※受付期間に手続きができなかった方は、町健康福祉課7番窓口で5月16日～31日の期間中、午前8時半～午後5時半（土・日、祝日は除く）まで申請手続きができますのでご利用ください。

◆お問い合わせ 町健康福祉課地域福祉係（☎82-3111 内線151）へどうぞ。

山田町長選挙 山田町議会議員補欠選挙

7月3日告示 7月8日投票

※投票場所や期日前投票など、詳しい内容については次号以降の広報でお知らせします。

立候補者説明会を開催



任期満了（7月14日）に伴う山田町長選挙と山田町議会議員補欠選挙が7月3日告示、8日投票で行われます。次の日程で立候補届出書類の作成説明会を

開催しますので、立候補を予定している方はご出席ください。

▽日時 6月1日（金）午後1時半～

▽場所 役場5階委員会室

※代理人の出席もできますが、その際には会場の出席者名簿に立候補予定者の氏名も必ず書き添えてください。

▽問い合わせ 町選挙管理委員会事務局（☎82-3111 内線412）へどうぞ。

2016年いわて国体

大会愛称とスローガンを募集

平成28年(2016年)に岩手県で開催する第71回国民体育大会の「大会愛称」と「スローガン」を募集します。

- ▷募集作品 ▶大会愛称…「岩手」（いわて・イワテ・I W A T Eも可）と「国体」の文字を入れる▶スローガン
- ▷応募方法 作品は未発表のもので各1点を明記し、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業（学校名）、作品の簡単な説明を記入して、はがき（町中央公民館に備え付けのリーフレットに付いているものか官製はがき）、ファクス、または県ホームページの専用フォーム（<http://www5.pref.iwate.jp/~2016kokutai>）から応募してください。Eメールでの応募はできません。

※いずれか1点の応募も可能です。

▷応募期限 5月31日（当日消印有効）

◆応募先・問い合わせ 第71回国民体育大会岩手県準備委員会事務局（〒020-0023岩手県盛岡市内丸11番1号 岩手県政策地域部国体室内「大会愛称・スローガン募集係」☎019-629-6294・6295FAX 019-629-6299）へ。

軽自動車税の減免 申請は24日までに

軽自動車税の納税通知書の発送時期が、本年度から5月中旬に変わります。納期限は5月31日となりますので、期限までの納付をお願いします。また、障がいがある方などが所有する軽自動車や、移動入浴車など介護福祉車両（8ナンバー）の軽自動車税の減免申請を受け付けていますので、対象となる方は期限までに申請してください。

▷減免申請期限 5月24日
▷持参する物 納税通知書、障害者手帳、運転免許証、車検証の写し、印鑑

◆**申請先・問い合わせ** 町税務課町民税係（内線112）へ。

危険物取扱者試験 などを実施します

◎危険物取扱者試験

▷試験種類 甲種、乙種全類、丙種
▷試験日 6月30日(土)
▷試験地 宮古市
▷願書の受付期間 ▶電子受付…5月4日～12日▶書面申請受付…5月7日～15日
▷願書の請求先 山田消防署予防係（☎82-3139）

◆**申込先・問い合わせ** (財)消防試験研究センター岩手県支部（☎019-654-7006）へ。

◎防火管理者資格付与講習会・再講習

▷講習日 ▶新規講習…6月26日～27日▶再講習…6月25日
※新規講習については2日間受講する必要があります。
▷内容 甲種防火管理講習
▷定員 100人(再講習は20人)
▷場所 宮古地区広域行政組合消防本部（宮古市）
▷テキスト代 3,800円
※再講習は1,470円
▷受付期間 5月14日～6月8日
※定員になり次第締め切ります。
◆**申込先・問い合わせ** 山田消防署予防係（☎82-3139）へ。

期限付臨時職員と 非常勤職員を公募

町では、期限付臨時職員と非常勤職員を募集します。町民課または役場各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入して提出してください。選考方法は、書類審査（履歴書）と面接です。

◎期限付臨時職員

▷業務内容 一般事務補助
▷勤務場所 町農業委員会
▷募集人数 2人
▷応募資格 町内に住所があり、パソコン操作ができる方
▷賃金 日額5,500円
▷任用期間 6月1日～12月31日
▷申込期限 5月11日
▷申込先 町総務課

◆**問い合わせ** 町農業委員会事務局（内線214）へどうぞ。

◎非常勤職員

▷業務内容 学童保育
▷勤務場所 放課後児童クラブ
▷募集人数 1人
▷応募資格 町内に住所があり、教員免許か保育士資格を有するか、児童福祉施設での勤務経験がある人
▷賃金 月額108,000円
▷任用期間 6月1日～来年3月31日
▷申込期限 5月15日
◆**申込先・問い合わせ** 町健康福祉課児童福祉係（内線146）へ。

森林・林業の講座 知識を深め実践を

三陸北部森林管理では、登山や森林観察会、体験活動などを通じ、自分の手で森作りを实践する「森林・林業講座～森林と遊ぶ・楽しむ」を開講します。
▷期日 5月24日(木)、6月21日(木)、7月5日(木)、10月27日(土)
▷場所 鯨山、早池峰山など
▷定員 各回20人程度
▷参加費 各回ごと100円
▷申込期限 5月16日
◆**申込先・問い合わせ** 三陸北部森林管理署（☎76-2151）へ。

フリーマーケット 宮古で開催します

宮古地区広域行政組合では、衣類やおもちゃ、装飾品などの再利用を促進するため、フリーマーケットを開催します。お気軽にご参加ください

▷日時 5月27日(日)
午前9時～正午
※雨天の場合は中止となります。
▷場所 みやこ広域リサイクルセンター（宮古市小山田）
一 出店者を募集します一

上記フリーマーケットに出店を希望する方は、5月24日までに電話でお申し込みください。
▷売場面積 1人2.5㎡×2.5㎡
▷出店料 無料
※出店場所に敷くシートは、出店者が用意してください。

◆**申込先・問い合わせ** みやこ広域リサイクルセンター（☎64-7111）へどうぞ。

男性を対象とした 料理講座開きます

町内在住者が中心となり活動するボランティア団体「復興支援ネット・オデンセ山田」では、男性のための料理講座を開催します。参加料は無料で、手ぶらで参加できます。参加を希望する方は、電話またはEメール(odenseyamada@gmail.com)で申し込むか、町内各仮設住宅の掲示板に備え付けのはがきに必要事項を記入して郵送してください。当日の飛び入り参加も受け付けます。

・第13回「男の料理講座」

▷日時 5月19日(土)
午前10時半～午後1時半
▷場所 町中央コミュニティセンター

◆**申込先・問い合わせ** 復興支援ネット・オデンセ山田（☎080-2817-3414）へどうぞ。

震災により被害のあった事業者を支援

被災資産新築・購入費を補助します

県と町では、東日本大震災により被災した地域の経済復興と雇用の回復のため、被災した町内中小企業の店舗・工場などの復旧経費を補助します。

▷補助対象事業者 東日本大震災により事業用資産が滅失し、町内で事業を再開しようとする中小企業者
※個人事業主は、町内に住所を有する方に限ります。
▷補助対象経費 滅失した事業用資産のうち、事業再開のために不可欠な建物、設備、構築物、機械および装置の取得費用で、費用の合計が100万円以上の場合に対象となります。

※機械・装置には一部対象とならないものがあります。
▷補助率 補助対象経費の2分の1以内
▷補助限度額 ▶製造業・宿泊業（旅館、ホテル）…2,000万円▶これ以外の業種…300万円
▷雇用要件 事業を再開した年度から3年以内に従事者数を回復することが要件です。
※従事者には、経営者等を含みます。
▷対象期間 昨年3月11日以降に実施した事業にさかのぼって適用できます。
▷申込期限 7月31日

◆**申込先・問い合わせ** 町水産商工課商工労働係（内線223、224）へどうぞ。

おしらせ



まちで出会ったかわいい笑顔

森林の土地所有に 届け出が必要です

森林法が改正され、本年4月以降、森林の土地を取得したときには届け出が必要となりました。届け出方法など詳しくはお問い合わせください。

▷対象 個人・法人問わず、売買契約、相続、贈与、法人合併などにより森林の土地を新たに取得した場合

※面積に関係なく、全てが対象となります。

▷届け出期限 所有者となった日から90日以内に、取得した土地がある市町村長に届け出を行ってください。

※届け出をしない、または虚偽の届け出をした場合、過料が科される場合があります。

◆問い合わせ 町農林課林業振興係（内線213）へどうぞ。

夢プロのイベント こそってご参加を

「ベアレンビールと焼肉を楽しむ会」が開かれます。子ども向けの催しもありますので、ご家族そろってご参加ください。

▷日時 5月13日(日)
午前11時～

▷場所 保健センター入口付近
▷内容 ▶ベアレンビール▶焼肉▶子ども向けちびっこ縁日3種類(ヨーヨー釣り、輪投げ、クジ引き)▶カーネーション200本無料配布▶無料カラオケ大会など

※食事やおもちゃなどが無くなり次第終了となります。

▷食事費用 ▶ベアレンビール…1杯200円▶焼肉…1皿100円▶ちびっこ縁日3種類とジュース…200円

◆問い合わせ やまだ夢プロジェクト(間瀬☎090-5596-4365)へどうぞ。

山田町民合唱団の 練習が始まります

町民合唱団では、5月から本年度の練習を開始します。町民の方なら誰でも参加できますので、直接会場へお越しください。

▷5月の練習日時 ▶10日、24日…午後7時～8時半▶17日、31日…午後1時半～3時

▷場所 町中央公民館小ホール
◆申込先・問い合わせ 山田町民合唱団(代表・佐藤☎82-9996)へどうぞ。

青少年の家で各種 イベント楽しもう

◎家族ふれあい塾

家族みんなで野外活動を楽しんでみませんか。

▷期日 5月19日～20日

▷場所 陸中海岸青少年の家、鯨山

▷内容 鯨山登山(雨天の場合は創作活動)、アウトドア料理作り、交流会など

▷対象 家族(15家族)

▷参加費 ▶3歳以下…200円▶小学生以下…1,190円▶中学生以上…1,200円

※アウトドア料理の食材、交流会、雨天時の創作活動は費用が別途必要となります。

▷申込期間 5月5日～12日

◎グラウンドゴルフ交流大会

「第33回マリンランド杯グラウンドゴルフ交流大会」を開催します。

▷日時 5月30日(水)

午前9時～午後1時半

※雨天の場合は5月31日(木)に順延します。

▷場所 陸中海岸青少年の家

▷内容 グラウンドゴルフ

▷対象 おおむね50歳以上のグラウンドゴルフ愛好者

▷定員 100人程度

▷参加費 1,000円

▷申込期限 5月25日

◆申込先・問い合わせ 県立陸中海岸青少年の家(☎84-3311)へどうぞ。

山田民謡伝承会の 発表会にご来場を

山田民謡伝承会では「平成24年度大震災復興支援チャリティーショー」を開催します。

▷日時 5月13日(日)
正午～

▷場所 町中央公民館大ホール

▷入場券 500円(当日700円)

※入場料の一部は、町へ寄付されます。

◆入場券の配布・問い合わせ

山田民謡伝承会・佐々木(☎84-3508)または新保(☎090-7066-3861)へどうぞ。

役立つ能力開発 してみませんか

宮古高等技術専門校では、能力開発セミナーを開催します。

◎ISO14001環境マネジメント

▷期間 6月7日～8日

▷対象 ISO14001の認証取得を目指す企業の担当者など

▷内容 環境関連における国際規格の動向、システム構築の基礎など

▷申込期限 6月1日

◎建築CAD

▷期間 6月14日～15日

▷内容 Jw-CADを使用した建築平面図の作図

▷申込期限 6月8日

◎デジタル画像編集

▷期間 6月19日～20日

▷内容 Adobe Photoshopを使用した画像編集の基礎

▷申込期限 6月1日

◎QC7つ道具

▷期間 6月21日～22日

▷対象 品質管理資格認定4級～3級レベルの方

▷持参品 「√」がある電卓、定規、筆記用具

▷申込期限 6月15日

◆時間 午前9時～午後4時

◆受講料 無料(デジタル画像編集のみテキスト代1,300円)

◆定員 各コース15人

◆申込先・問い合わせ 宮古高等技術専門校(☎62-5606)へ。

各種相談あります お気軽にご利用を

◎宮古地区無料法律相談

▷相談日 5月10日、17日、19日、24日、31日

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 宮古市役所分庁舎2階

▷内容 多重債務、金銭トラブル、遺産相続、離婚、不動産問題など法律に関する相談

▷申込先 宮古市市民相談室(☎62-2111)

◎「憲法週間」無料法律相談

▷期日 5月8日(火)

▷時間 午前10時～午後3時半

※事前予約制ではありませんので、当日は受付順に行きます。

▷場所 岩手県産業会館(サンビル)7階大ホール(盛岡市)

▷相談内容 ▶民事…お金の貸し借り、土地の所有権・家賃、交通事故の損害賠償、雇用関係など▶家事…夫婦関係、親子関係、遺産相続など

◆問い合わせ 岩手弁護士会(☎019-651-5095)へ。

▷相談内容 ▶民事…お金の貸し借り、土地の所有権・家賃、交通事故の損害賠償、雇用関係など▶家事…夫婦関係、親子関係、遺産相続など

◆問い合わせ 岩手弁護士会(☎019-651-5095)へ。

◎行政相談

▷日時 5月17日(木)

午前10時～正午

▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室、集会室

▷相談内容 国や県、市町村の仕事で納得できないことなど

▷相談員 行政相談委員

◆問い合わせ 町町民課生活安全チーム(内線126)へ。

就職面接会の参加 企業を募集します

「宮古・下閉伊地区就職面接会」に参加していただける企業を募集しています。

▷日時 6月20日(水)

午後1時半～4時

▷場所 宮古市民総合体育館

▷内容 一般求職者との個別面談、就職相談など

▷申込期限 5月31日

◆申込先・問い合わせ 宮古地域雇用対策協議会(☎63-8609)へどうぞ。

春のスポーツイベント

第16回B&Gバレーボール大会

バレーボールを通じて、親睦と交流を深めてみませんか。どうぞご参加ください。

- ▷日時 5月29日(火)、30日(水)
開会式 29日午後6時50分～
- ▷場所 山田中学校校体育館
- ▷内容 6人制バレーボール
- ▷部門 混成(女子2人以上含む)の部、女子の部
- ▷参加料 1チーム2,000円
- ▷募集数 各部門12チーム
- ▷申込期限 5月16日
- ▷応募方法 教育委員会事務局(町中央公民館内)へ
申込書およびメンバー表を持参またはファクスで
お申し込みください。

◆**申込先・問い合わせ** 町生涯学習課社会体育係 (☎82-3212、ファクス82-0030) へどうぞ。

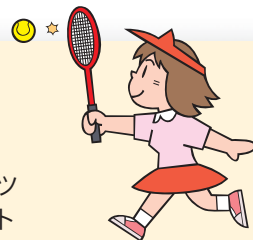
ソフトテニス教室

町教育委員会では、スポーツに親しんでもらうためソフトテニス教室を開催します。

- ▷期日 5月20日、27日、6月3日、10日、17日(いずれも日曜日)の全5回
- ▷時間 午前9時～正午
- ▷場所 町町民総合運動公園テニス場
- ▷内容 ラケットの握り方や振り方、フットワーク、ゲームなどの基礎
- ▷参加料 小・中学生100円、高校生以上200円(1回につき)
- ▷参加方法 直接会場へお越しください。

※ラケットは持参してください。持っていない人には貸し出しもできます。

◆**問い合わせ** 町生涯学習課社会体育係 (☎82-3212) へどうぞ。



3回も遭遇しているが、3回と35年のチリ津波、そして平成23年3月11日、千年目の大津波と

時世が変わっても津波は必ず来る。俺、今まで一介の漁師として今でもそうであるが、社会的にも通用する生活をしてきている。それもこれも自らの「努力」で生活を豊かにしてくれる海があればこそである。だがその海、3月11日、何でござえやいだもんだあか、津波を起こした。その津波たるや史上最大といわれる千年に一度の大津波であった。

時世が変わっても津波は必ず来る

みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。

その津波で多くの方々が、後世の人々に尊い教訓を残して犠牲になられた。その教訓を生かすには…何も分かんなくても良い。

時世が変わっても津波は必ず来る。俺、今まで一介の漁師として今でもそうであるが、社会的にも通用する生活をしてきている。それもこれも自らの「努力」で生活を豊かにしてくれる海があればこそである。だがその海、3月11日、何でござえやいだもんだあか、津波を起こした。その津波たるや史上最大といわれる千年に一度の大津波であった。

道のが長かった

大津波から1年、道のが長かったですが1年が過ぎました。一瞬のうちに、質素でも平穏な生活を失いました。地区も壊滅状態、走馬灯のように脳裏をよぎる原風景を思い出し、つらく、悲しい日々、途方にくれた日々でした。

文芸作品や写真、メッセージなどを募集

◆**投稿規定** ▶住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ペンネーム・匿名での掲載を希望する方はその旨を付け加えてください▶営利・政治的活動を目的としたものや特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載しません▶400字を超える投書は添削することがあります▶写真は、1枚(プリントまたはデータ)にタイトル、コメント(30字程度)を添えて、郵送、持参またはEメール(info@town.yamada.iwate.jp)で応募ください。

◆**あて先・問い合わせ** 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線417)へどうぞ。

春がきた野にも山にも

佐々木永陽(織笠・78)

花が咲く

震災後わびしき海辺ながむれば
人の命のはかなさ想う
内館 洋一(飯岡・69)

やまだ文芸広場

菊地 サカエ(織笠・77)
申し上げます。



菊 地 ^{みかこ}美香子さん (織笠・25)

子どもたちの心に残る先生へ

「先生方のチームワークがとても良く、活気があり明るい職場です」と職員室の印象を話すのは、織笠の菊地美香子さん。本年度、新採用の教師として町内の小学校の教壇に立ちます。

教師を目指したのは小学校のとき。担任の先生がいつも笑顔で子どもたちと接するのに憧れを抱いたのがきっかけです。長年思い続けた夢を叶えた菊地さ

んは「子どもたち自身が考えて答えを導き出すように教えるのがとても難しいです。でも、子どもたちから『授業が分かりやすかった、算数が好きになったよ』など、真つすべな言葉を聞くとうれしくなります」と教えることの大変さを感じながらも充実感に満ちています。

休みの日には友人と再開したお店巡りをするのが楽しみの一つという菊地さん。「おいしい料理を食べながら、友人とおしゃべりするの心が癒されま

仕事の原動力にしています。今後の抱負を尋ねると「子どもたちが大きくなっても、心に残るような先生になることです。そのため毎日楽しく、学び合いながら成長していきたいです」と笑顔で話してくれました。

キッチンスタジオ No.44 ハーモニー

このコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、餃子のような不思議なお菓子、子どもから年寄りまで気軽に味わえる「ミニひょうず」です。

【材料 (16個分)】

むきクルミ…20g^ア 黒いりゴマ…小さじ2杯
黒砂糖…50g^ア 小麦粉…250g^ア 塩…少々
熱湯…180~190cc

【作り方】

- ① 黒砂糖とむきクルミを細かく刻み、黒いりゴマを加えてよく混ぜ合わせる。
- ② ボウルに小麦粉と塩を入れ、熱湯を少しずつ加えながらかき混ぜる。
- ③ ②をなめらかになるまで手でよくこね、16等分にして丸め、平たく円形に延ばす。
- ④ ③に①を小さじ1杯強のせ、餃子のように二つ折りにして縁を指でつまんで張り合わせる。
- ⑤ たっぴりのお湯をわかし、④を入れて10分くらいゆでる。浮いてきたら、ぬれたふきんをしいたザルにあげて湯きりをすれば出来上がり。

【一口メモ】

町内でも地域によって呼び名が違い、「ひょうず」とも呼ばれます。県内では中身をみそ、クルミ、ゴマとした「みみっこ餅、かま団子、煮あげ餅」の名があり、焼いて食べたりもします。

ミニひょうず



【食べ方のポイント】

今回は小さいので子どもでも気軽に食べることができますが、食べると中から黒砂糖の汁が飛び出し、服に付いてしまうことがありますので、すするようにして食べるのがポイント。食べるのにコツが必要ですが、トロトロしつつサクサクする絶妙な食感の中身と、その甘さを適度に抑えるモチモチした皮が相まって、思わず手が止まらなくなるお菓子です。

おめでとう・おくやみ

3月届け出分 (敬称略)

【出生】()は保護者と性別

- ▷船越 菊地陽太 (孝幸・男)
- ▷田の浜 佐々木秀和 (秀孝・男)
- ▷大沢 田村未宇 (徹・女)
- ▷豊間根 西口士 (善雄・男)
- ▷荒川 花崎哲平 (秀平・男)、斎藤萌結 (盛・女)

【結婚した二人】()は住所

- 三浦勇太 (田野畑村)・佐々木渚 (織笠)
- 斉藤勝也 (豊間根)・丸山正美 (滝沢村)
- 前川知也 (釜石市)・上野葉登子 (船越)

【死亡】()は年齢

- ▷山田 西館ハマ子 (74)、佐々木忠義 (81)、木村ヒロ (81)、斉藤信之 (40)、昆幸 (96)、湊岩男 (84)、佐藤綾 (74)、白野シチ (89)、川村幸子 (85)
- ▷船越 佐々木キン (97)、稲川澄男 (79)、川原サダエ (84)、山崎リエ (76)、千葉茂 (62)
- ▷田の浜 佐々木洋 (36)、山崎正孝 (62)、田代イシ (91)
- ▷大浦 岩間熊三 (87)、野田仁八郎 (84)、佐々木いくよ (85)
- ▷織笠 沼崎庄八郎 (88)、福士キヨ (66)、澤山ヒサ (86)
- ▷大沢 佐藤逸郎 (90)
- ▷荒川 佐藤ナミ (78)、山口亀雄 (63)

町民のうごき

(3月1日~31日)

- ▷出生…… 6人 ▷転入…… 74人
- ▷死亡……29人 ▷転出……213人

▷人口…17,416人 (今月減162人)
男…8,442人 女…8,974人

▷世帯数……6,749世帯

ピンボケ

◆広報担当になり、カメラも取材も初めて尽くして、案の定写真はピンボケだらけ。初心者から早く脱し、ピンボケはこのコーナーだけにしたいです。よろしくお願ひします。

◆長い歴史を刻んできた広報の記念すべき1千号の担当ができて幸せでした。「広報の主役は町民の皆さん」をモットーに広報マンとしての腕を「もっと」磨こうと思ひました。

【正】



藤原 拓 翔
(豊間根・正幸・男)



本 間 理 紗 子
(飯岡・勇一・女)



内 藤 琉 依
(織笠・寛貴・男)



※敬称略、()内は地区名・保護者・性別です。



小 成 莉 央 奈
(長崎・透・女)



湊 音 乃
(長崎・一浩・女)



佐々木 那 桜
(大沢・慎吾・女)



高 橋 杏 樹
(飯岡・清隆・女)



田 森 龍 舞
(織笠・教郎・男)

うつみ宮土理 復興応援 トーク&ライブ

友情出演：加藤登紀子さん

うつみ宮土理さんによる「復興応援トーク&ライブ」が開催されます。

- ▷日時 5月3日(木) 正午開場 午後1時開演
- ▷場所 町中央公民館大ホール
- ▷入場料 無料
- ※入場チケットが必要です。チケットは、当日正午から

中央公民館前で1人1枚配布。先着順で、無くなり次第配布を終了します。

◆問い合わせ (公財)国際開発救済財団 (☎090-6639-7899、090-6639-7903)へ。